

おねえちゃん、いつもありがとう

福島 ふくしま
悠斗 ゆうと

ほくには、三つ上のおねえちゃんがいます。ほくとおねえちゃんとは、いつもいっしょにあそびます。おねえちゃんとなりのおじいちゃんといえに行くと、ほくもついていきます。おねえちゃんが外に行くと、ほくも外にいきます。おねえちゃんがマンガの本を読んでいると、ほくは、何の本を読んでいるのか気になって、となりからのぞき見します。お姉ちゃんがゲームをしているときは、ほくもいっしょにゲームをします。そして、おねえちゃんのじやまをして、いつもおこられてしまいます。

「ゆうと、じやましないで！」
それでもほくは、しつこくじやまをしてしまっただな。だから、かならずけんかになってしまいます。

けんかをするとおねえちゃんとはとても強いです。だからすぐにあやまります。ほくがあるやまと、すぐにゆるしてくれませう。こわいけど、やさしいおねえちゃんです。でも、ほくはわがままなので、おねえちゃんのをかっ手につかたり、いたずらをしたりするから、またおこられてしまいます。けんかして、なかなかおりのくりかえしです。でも、いつもゆるしてくれて、ありがとう。

おねえちゃん、ねる前に、ほくのはブラシをもってきて

くれます。

「ちゃんとはをみがいてよ。」

と言つて、もつてきてくれます。おねえちゃんは、たべているおかしを、

「ゆうとにもあげる。」

と言つて、おかしをくれます。たまに、おねえちゃんのおかしを、だまつて食べてしまつておこられてしまっただ、いつもゆるしてくれます。やさしいおねえちゃんです。

ほくがいないと、なぐさめてくれます。なぐさめてくれる方ほうは、わらわせてくれることです。おねえちゃんがわらわせてくれるので、ほくはすぐにわらつて元気なれます。でも、おねえちゃんにいたずらして、またおこられます。

ほくは、おねえちゃんがすきなことや、すきなものをまねして、すべてすきになります。ほくは、おねえちゃんのことです。わがままをしても、いたずらしても、かならずめんどうを見してくれるからです。ほくとつておねえちゃんとは、せかい一のおねえちゃんです。だから、言いたい言ばがありませう。いつもはすかしくて、小さな声でしか言えないけど、これからは、心をこめて大きな声で言おうと思います。

「おねえちゃん、いつもありがとう。」